

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限（2019年6月17日設定）	
運用方針	外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。外国投資法人の投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド・クラスC・JPY・アキュムレーションおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド・クラスC・JPY・アキュムレーション	日本を含む世界各国の株式等を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 <div>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</div>	

運用報告書（全体版）

ベイリー・ギフォード
インパクト投資ファンド

愛称：ポジティブ・チェンジ

第6期（決算日：2025年6月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド」は、去る6月25日に第6期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用 フリーダイヤル	0120-151034
	（受付時間：営業日の9:00～17:00、 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。	

※当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。

サステナブル・ファンドとは、ファンドの投資判断プロセスにおいてE S G要素を主要とし、環境や社会の課題解決・改善に寄与する企業等への投資を行い、お客さまの資産形成および持続可能な社会の実現に貢献するファンドとして、三菱UFJアセットマネジメントが定めたファンドをいいます。サステナブル・ファンドへの認定および除外は今後見直す場合があります。

詳細については、委託会社のホームページ (<https://www.am.mufg.jp/corp/sustainability/sustainability.html>) でご覧いただけます。

E S Gとは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取ったものです。

ファンドマネージャーのコメント

■運用のポイント

ベイリー・ギフォードでは1世紀以上にわたって長期的視点での投資を行っており、その中で何度も世界的な危機局面を経験しています。この中で、危機時においても長期的視点を持ち、反射的な投資行動は避けるべきであるということを学んでおり、これは当ファンドにおいても生かされています。

当ファンドでは長期的には株価はファンダメンタルズに従うと考えており、長期的な業績拡大が期待でき、社会に好ましいインパクトをもたらすことが期待できる銘柄については保有を継続しています。

また、インパクト分析の強化や継続的な投資先企業との対話を通じて、持続可能な社会の実現に向けたポジティブな影響を与えることを引き続き目指しています。

■ポートフォリオ概況

主な新規組入銘柄

「MICROSOFT CORP」は世界最大級のテクノロジー企業です。コンピューター向けの基本ソフトウェアをはじめ、ビジネス用ソフトウェア、インターネット閲覧ソフトウェアなどの開発・製造やクラウドサービス事業などを手掛けており、企業

のクラウド移行などによる恩恵がもたらされると考え、新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

「TESLA INC」は電気自動車の製造・販売などを手がける企業です。電気自動車市場全体が低迷し、また同社の販売台数が減速しているにもかかわらず株価が上昇し、ファンダメンタルズとの乖離が発生していると判断し、全売却しました。

■ポジティブ・チェンジ戦略が創出したインパクト (2023年12月末時点)

◎ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC (医療・生活の質向上)

同社は、病気の原因となる異常なタンパク質の作用を止める技術を駆使し、希少性のある慢性疾患の治療薬を開発・製造しています。2023年時点で、市場に多数の薬を通じて、数千人の患者に治療法を提供しました。同社の薬は、希少疾患の症状を予防することにより、患者の生活の質向上に大きく寄与しています。

◎BANK RAKYAT INDONESIA PERSER (貧困層の課題解決)

同社は、1億以上の顧客に対し、貯金、融資、保

険、決済サービスの利用機会を提供しています。多くのローンが、インドネシアの中小企業やマイクロ企業向けです。2023年には、数千万人のローン利用者にウルトラ・マイクロローンを実施し、数百万件の新規マイクロ貯金口座を開設、数千万件のマイクロ保険を提供しました。手頃な金融サービスへのアクセスを広げることで、より多くの人が経済的レジリエンスを築き、生活向上のチャンスをつかめます。オンライン・オフラインの取り組み、低手数料、そしてマイクロセグメントにおける比較的低い不良債権比率を活かして、この目標の達成に向けて貢献します。

■エンゲージメント（2024年12月末時点）

◎Grab Holdings Limited（平等な社会・教育の実現）

同社のインドネシア拠点を訪問し、最高財務責任者（CFO）と会談しました。調査会社60 Dcibels（60dB）のレポートの調査結果や、デジタル化によって市場浸透率を高めたいと考えている零細・小規模企業（MSE）を支援するために何ができるかといったテーマについて議論しました。CFOは、最近スラウェシ州を訪れ、MSEと対話した時の経験が、60dBの報告書のデジタルリテラシーに関する調査結果の一部を裏付けていると語りました。当戦略は、小規模で遠隔地に存在する加盟店のデジタル教育を支援する上で、同社が直面する幾つかのボトルネック（誤情報等）の理解に努めました。更に、こうした顧客にリーチする

ための代替的なルートを提案しました。例えば、このセグメントに関して経験豊富なマイクロファイナンス組織との提携等が挙げられます。

◎ILLUMINA INC（医療・生活の質向上）

同社の新CFOのアンカー・ディングラ氏と2回会談しました。ディングラ氏の事業に関する知識と、優先課題について深く語れる能力は印象的でした。ディングラ氏が同社製機器の需要を成長させ、解析コストを更に削減してその需要を解放し、顧客との密接な協力関係を再構築することに重点を置いている点について支持を表明しました。



ベイリー・ギフォード&カンパニー
パートナー（共同経営者）インベストメントマネージャー
ケイト・フォックス

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 金 騰 落 率				(参 考 指 数) MSCI オールカントリー・ワールドインデックス (配当込み、 円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
		分 配	金	騰	落 率	期 騰	期 落 率				
	円		円		%		%	%	%	%	百万円
2期(2021年6月25日)	24,522		10		66.3	15,484	45.1	—	—	98.5	117,371
3期(2022年6月27日)	19,059		10		△22.2	16,363	5.7	—	—	99.0	149,512
4期(2023年6月26日)	24,334		10		27.7	19,368	18.4	—	—	98.5	166,389
5期(2024年6月25日)	26,742		10		9.9	26,171	35.1	—	—	98.3	124,833
6期(2025年6月25日)	28,244		10		5.7	27,126	3.7	—	—	98.0	96,368

- (注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
- (注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) MSCI オールカントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCI オールカントリー・ワールドインデックス (配当込み、 円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率			
(期 首) 2024年 6 月25日	円 26,742	% —	26,171	% —	% —	% —	% 98.3
6 月末	27,411	2.5	26,401	0.9	—	—	98.3
7 月末	25,614	△4.2	25,370	△3.1	—	—	98.6
8 月末	24,965	△6.6	24,661	△5.8	—	—	98.8
9 月末	25,620	△4.2	25,018	△4.4	—	—	98.7
10月末	27,090	1.3	26,584	1.6	—	—	98.1
11月末	27,962	4.6	26,745	2.2	—	—	99.0
12月末	28,134	5.2	27,616	5.5	—	—	98.8
2025年 1 月末	28,763	7.6	27,703	5.9	—	—	98.5
2 月末	27,347	2.3	26,503	1.3	—	—	98.8
3 月末	26,214	△2.0	25,762	△1.6	—	—	98.9
4 月末	25,056	△6.3	24,487	△6.4	—	—	98.6
5 月末	28,647	7.1	26,360	0.7	—	—	98.0
(期 末) 2025年 6 月25日	28,254	5.7	27,126	3.7	—	—	98.0

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

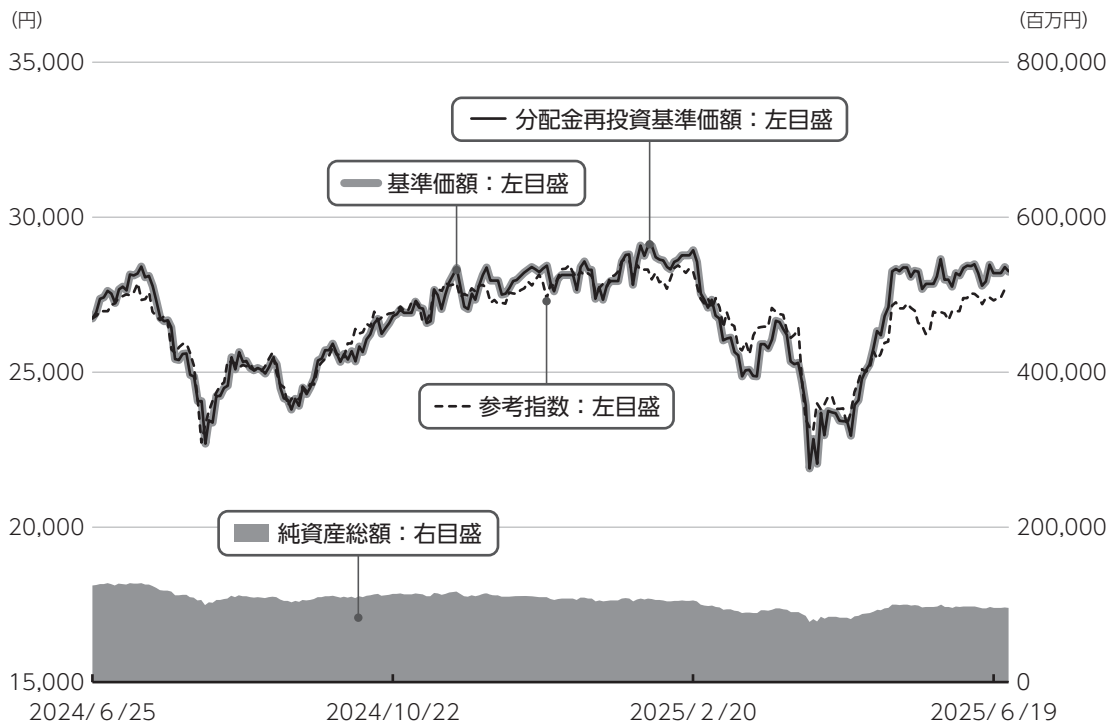
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第6期：2024年6月26日～2025年6月25日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第6期首	26,742円
第6期末	28,244円
既払分配金	10円
騰落率	5.7%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ5.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

「SHOPIFY INC - CLASS A」はクラウドベースの商取引プラットフォームなどを提供しています。同社は中小企業（SME）を中心とするあらゆる規模の加盟店に決済、出荷、在庫管理等のサービスへのアクセスを提供しており、ネット通販の経験がない加盟店でも低料金かつ短時間でサイトを作成できることから、デジタル化が進む業界で中小規模の業者がより大規模な企業と競争することを可能にすると考えています。また、提供するこうしたサービスが経済的多様性や雇用の創出に貢献するとみています。同社が堅調な決算を発表したことなどから、株価が上昇し、プラスに寄与しました。

下落要因

「ASML HOLDING NV」は半導体製造装置メーカー大手で、露光装置（リソグラフィー）を手がけます。同社は顧客がより高性能で安価な半導体を製造できるよう支援することで、半導体業界にとって鍵となる極めて重要な役割を果たしており、他社が断念する中で、次世代技術の開発を推し進めてきました。同社は、成長産業が今後何年にも亘って前進し続けられるよう支援する過程で、独占的な地位を維持すると見込まれます。また、半導体は価格が低下し、性能が向上するに連れて、現代社会の構造に組み込まれて、さらに、次世代のヘルスケア技術や創薬を後押しし、エネルギー転換において益々重要な役割を果たすと考えています。当期間では、中国への米国の輸出規制の強化などを背景に、株価が下落し、マイナスに作用しました。

第6期：2024年6月26日～2025年6月25日

▶ 投資環境について

▶ 株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

期間の初めから2025年2月中旬までは、米国の景気後退懸念などから下落する局面もあったものの、米国を中心に利下げ観測が高まったことや米トランプ政権が掲げる経済政策への期待などから上昇しました。その後、貿易戦争激化への懸念などから一時大きく下落したものの、期間の終わりにかけて米中貿易協議の進展などにより戻り基調となりました。期間を通してみると上昇しました。

▶ 為替市況

期間の初めに比べ、米ドルやユーロは対円で下落しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ベイリー・ギフォードインパクト投資ファンド

外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）への投資を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行いました。

■テーマ別組入比率

(現地2025年6月24日時点)

テーマ	比率(%)
医療・生活の質向上	17.0
環境・資源の保護	26.7
平等な社会・教育の実現	50.3
貧困層の課題解決	6.0

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。

※データはベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものであり、運用報告書（全体版）とは異なる場合があります。

当期間の主な新規組入および全売却銘柄は以下の通りです。

主な新規組入銘柄

世界最大級のテクノロジーの「MICROSOFT CORP」などを新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

電気自動車の製造・販売などを手がける「TESLA INC」などを全売却しました。

ポジティブ・チェンジ戦略のエンゲージメント活動

2024年は、36社の投資先企業との間で80回のエンゲージメントを行いました。これは、ベイリー・ギフォードが企業と頻繁に面談し、経営陣と強固な関係を築いていることを反映しています。

インパクト・レポートおよびポジティブな対話は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/fund/253603.html>) にて開示を行っています。

インパクト・レポートおよびポジティブな対話は当ファンドが投資する外国投資法人の運用に用いられるポジティブ・チェンジ戦略とインパクト・テーマおよびエンゲージメントについて紹介したものです。したがって、ご紹介している内容は当ファンドの投資対象ファンドの内容と異なる場合があります。

また、「ポジティブ・チェンジ戦略への投資が、社会に与えるインパクト」について、当社ホームページ (https://www.am.mufg.jp/lp/positive_change/indicator/index.html) にて紹介しております。

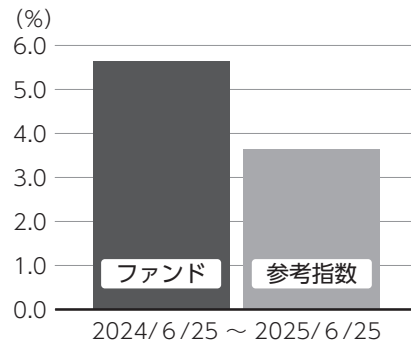
▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

当投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は配当込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第6期 2024年6月26日～2025年6月25日
当期分配金（対基準価額比率）	10 (0.035%)
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	18,243

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ ベイリー・ギフォードインパクト投資ファンド

外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資を行います。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

引き続き、主として日本を含む世界各国の株式等に投資を行います。

ポートフォリオの構築に際しては、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行う方針です。

景気見通しや地政学リスク、各国の金融当局による金融政策の動向に対する懸念などから、短期的には不安定な相場展開

となる可能性があるものの、短期的な株価の変動は長期的な成長が期待される企業へ割安な価格で投資する機会を生むと考えています。当ファンドの運用については、引き続き、「平等な社会・教育の実現」、「環境・資源の保護」、「医療・生活の質向上」、「貧困層の課題解決」の4つのインパクト・テーマの実現に貢献する事業によって、長期の視点から成長が期待される企業への投資を行う方針です。銘柄の選定に際しては、社会的課題への取り組みや企業の競争力等について徹底的な調査・分析を行う「ファンダメンタルズ分析」と、専門チームが社会や環境への影響度を分析する「インパクト分析」の2つの分析を実施して、ポートフォリオを構築します。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2024年6月26日～2025年6月25日

> 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	391	1.464	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(206)	(0.771)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(176)	(0.660)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(9)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	392	1.467	

期中の平均基準価額は、26,694円です。

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

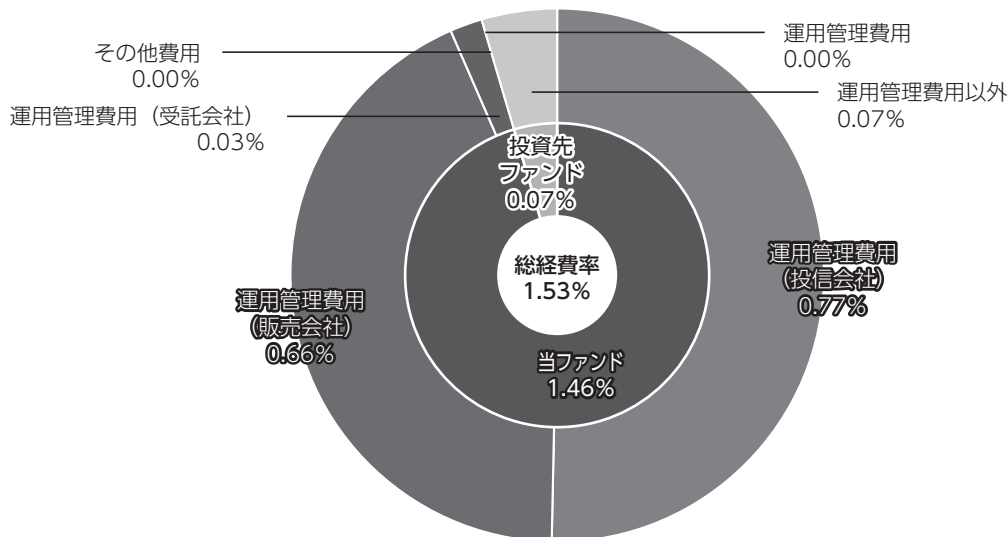
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.53%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.53
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.46
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.07

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用の内訳は、投資先運用会社の判断に基づいたものです。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年6月26日～2025年6月25日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド-クラスC・JPV・アキュムレーション	千口 —	千円 —	千口 11,869	千円 35,750,290

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月26日～2025年6月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年6月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド-クラスC・JPV・アキュムレーション	42,005	30,135	94,473,810	98.0
	合 計	42,005	30,135	94,473,810	98.0

(注) 比率はベイリー・ギフォード インパクト投資ファンドの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
	マネー・マーケット・マザーファンド	9	9	10

○投資信託財産の構成

(2025年6月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 94,473,810	% 97.3
マネー・マーケット・マザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	2,643,165	2.7
投資信託財産総額	97,116,985	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	97,116,985,185
コール・ローン等	2,104,617,507
投資証券(評価額)	94,473,810,883
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	10,033
未収入金	538,520,000
未収利息	26,762
(B) 負債	748,647,667
未払収益分配金	34,120,157
未払信託報酬	713,133,475
その他未払費用	1,394,035
(C) 純資産総額(A－B)	96,368,337,518
元本	34,120,157,897
次期繰越損益金	62,248,179,621
(D) 受益権総口数	34,120,157,897口
1万口当たり基準価額(C／D)	28,244円

<注記事項>

- ①期首元本額 46,681,056,687円
 期中追加設定元本額 1,547,128,444円
 期中一部解約元本額 14,108,027,234円
 また、1口当たり純資産額は、期末2.8244円です。

○損益の状況 (2024年6月26日～2025年6月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,994,797
受取利息	5,994,797
(B) 有価証券売買損益	6,710,565,611
売買益	8,276,738,973
売買損	△ 1,566,173,362
(C) 信託報酬等	△ 1,545,361,175
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	5,171,199,233
(E) 前期繰越損益金	11,478,739,484
(F) 追加信託差損益金	45,632,361,061
(配当等相当額)	(13,422,173,275)
(売買損益相当額)	(32,210,187,786)
(G) 計(D＋E＋F)	62,282,299,778
(H) 収益分配金	△ 34,120,157
次期繰越損益金(G＋H)	62,248,179,621
追加信託差損益金	45,632,361,061
(配当等相当額)	(13,422,173,275)
(売買損益相当額)	(32,210,187,786)
分配準備積立金	16,615,818,560

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2024年6月26日～ 2025年6月25日
費用控除後の配当等収益額	4,603,973円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	5,166,595,260円
収益調整金額	45,632,361,061円
分配準備積立金額	11,478,739,484円
当ファンドの分配対象収益額	62,282,299,778円
1万口当たり収益分配対象額	18,253円
1万口当たり分配金額	10円
収益分配金金額	34,120,157円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	10円
-----------------	-----

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

*三菱ＵＦＪアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①投資先ファンドの申込受付不可日変更に伴い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2024年10月25日)
- ②東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。詳細は、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）から当該ファンドページの目論見書をご覧ください。
(2024年11月5日)
- ③投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2025年4月1日)

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション
運用方針	日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）のうち、持続可能であらゆる人々を受容する世界の実現に向け、好ましい社会的インパクトをもたらす製品、サービスの提供や、かかる事業活動を公正かつ誠実に実施する企業の株式等への投資を行い、長期的な信託財産の成長をめざします。
主要運用対象	日本を含む世界各国の株式等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一の発行体が発行する株式等への投資比率は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ・ 新興国の株式等への投資額は、合計して純資産総額の50%以内とします。 ・ ロシアの金融商品取引所に上場されている株式等へは投資を行いません。また、他国の金融商品取引所に上場されているロシアの株式等についても投資を行いません。
決算日	毎年9月30日
分配方針	原則として分配を行わない方針です。

運用計算書、純資産変動計算書、投資明細表はANNUAL REPORT AND AUDITED FINANCIAL STATEMENTS FOR THE YEAR ENDED 30 SEPTEMBER 2024版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、シェアクラス分けされたものがないため、ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドで掲載しています。

(1) 運用計算書

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

(2023年10月1日～2024年9月30日)

	ベイリー・ギフォード・ ワールドワイド・ ポジティブ・チェンジ・ ファンド
	米ドル
収益：	
投資収益	14,778,952
銀行受取利子	706,434
その他収益	12,345
損益を通じて公正価値で測定する金融資産及び金融負債に係る損益（純額）	303,248,334
投資（損）益合計	318,746,065
費用：	
運用受託報酬	(2,898,989)
事務処理手数料	(1,192,375)
監査報酬	(15,114)
法務及び専門家報酬	(40,094)
事務管理手数料	(529,079)
預託手数料	(570,468)
ディレクター報酬及び費用	(7,947)
その他費用	(907,743)
運用費用合計	(6,161,809)
費用清算	—
純費用	(6,161,809)
分配	—
金融費用	(1,689)
純損益	312,582,567
源泉徴収税	(3,266,534)
純資産の純増加（減少）額	309,316,033

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(2) 純資産変動計算書

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

(2023年10月1日～2024年9月30日)

ベイリー・ギフォード・
ワールドワイド・
ポジティブ・チェンジ・
ファンド

米ドル

純資産期首	1,944,378,167
投資信託証券の純発行額	41,397,339
分配再投資	—
投資信託証券の純償還額	(888,734,683)
純増減額	(847,337,344)
純資産の純増加（減少）額	309,316,033
純資産期末	1,406,356,856

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(3) 投資明細表 (STATEMENT OF INVESTMENTS)

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド (2024年9月30日現在)

銘柄	残高	時価 (USD)	対純資産比率 (%)
Equities			
Brazil - 13.22% (30 September 2023: 11.57%)			
MercadoLibre Inc	60,546	124,877,942	8.88
NU Holdings Ltd Class A	4,398,030	61,022,666	4.34
Canada - 5.88% (30 September 2023: 5.63%)			
AbCellera Biologics Inc	2,780,598	7,243,458	0.51
Shopify Inc Class A	952,805	75,471,684	5.37
Cayman Islands - 2.53% (30 September 2023: 0.00%)			
Grab Holdings Ltd Class A	9,241,787	35,627,089	2.53
Denmark - 3.69% (30 September 2023: 6.46%)			
Novonosis (Novozymes) Class B	721,552	51,830,257	3.69
France - 2.50% (30 September 2023: 0.00%)			
Schneider Electric SE	85,709	22,795,749	1.62
SOITEC	120,856	12,305,666	0.88
Germany - 1.90% (30 September 2023: 2.45%)			
Sartorius AG Class Preference	94,736	26,764,953	1.90
India - 4.77% (30 September 2023: 4.15%)			
HDFC Bank Ltd	3,248,020	67,094,316	4.77
Indonesia - 4.96% (30 September 2023: 4.64%)			
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	212,008,905	69,806,102	4.96
Kenya - 0.19% (30 September 2023: 0.31%)			
Safaricom PLC	22,772,500	2,656,792	0.19
Netherlands - 5.95% (30 September 2023: 6.78%)			
ASML Holding NV	99,534	83,742,522	5.95
Sweden - 1.99% (30 September 2023: 0.00%)			
Epiroc AB Class B	1,465,108	27,921,769	1.99
Taiwan - 7.18% (30 September 2023: 5.42%)			
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	3,337,000	100,964,641	7.18
United States - 44.80% (30 September 2023: 41.30%)			
ABIOMED Inc	232,884	—	—
Alnylam Pharmaceuticals Inc	317,062	87,136,564	6.19
Autodesk Inc	237,514	64,565,806	4.59
Coursera Inc	2,033,700	16,727,182	1.19
Deere & Co	106,942	44,708,173	3.18
Dexcom Inc	580,470	39,048,217	2.78
Duolingo Inc Class A	254,716	70,836,520	5.04
Ecolab Inc	223,406	56,846,774	4.04
illumina Inc	332,867	43,309,325	3.08
Insulet Corp	103,766	24,075,268	1.71
Joby Aviation Inc	949,544	4,951,872	0.35
Moderna Inc	643,109	42,281,201	3.01
Remitly Global Inc	2,012,573	27,461,559	1.95
Rivian Automotive Inc Class A	485,237	5,621,471	0.40
Tesla Inc	141,366	36,820,188	2.62
Vertex Pharmaceuticals Inc	28,412	13,150,068	0.93
Xylem Inc	390,843	52,570,338	3.74
Total Equities		1,400,236,132	99.56
Financial Equity Assets at Fair Value through Profit or Loss		1,400,236,132	99.56
Financial Equity Liabilities at Fair Value through Profit or Loss		—	—

	時価 (USD)	対純資産比率 (%)
Total Financial Assets at Fair Value through Profit or Loss	1,400,236,132	99.56
Total Financial Liabilities at Fair Value through Profit or Loss	—	—
Other Net Assets	6,120,724	0.44
Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Shares	1,406,356,856	100.00
Analysis of Total Assets (Unaudited)		Total Assets %
Transferable securities admitted to an official stock exchange listing	1,400,236,132	99.33
Transferable securities dealt in on another regulated market	—	0.00
Transferable securities other than those admitted to an official stock exchange listing or dealt in on another regulated market	—	0.00
Financial derivative instruments	—	0.00
Other assets	9,497,251	0.67
Total Assets	1,409,733,383	100.00

マネー・マーケット・マザーファンド

《第41期》決算日2025年5月20日

[計算期間：2024年11月21日～2025年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第41期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第41期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産総額
37期(2023年5月22日)	円 10,181	% 0.0	% —	% —	百万円 2,921
38期(2023年11月20日)	10,181	0.0	—	—	3,393
39期(2024年5月20日)	10,181	0.0	—	—	4,054
40期(2024年11月20日)	10,189	0.1	—	—	5,470
41期(2025年5月20日)	10,211	0.2	—	—	40,477

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	債券率
(期首) 2024年11月20日	円 10,189	% —	% —	% —	% —
11月末	10,190	0.0	—	—	—
12月末	10,191	0.0	—	—	—
2025年1月末	10,193	0.0	—	—	—
2月末	10,197	0.1	—	—	—
3月末	10,201	0.1	—	—	—
4月末	10,208	0.2	—	—	—
(期末) 2025年5月20日	10,211	0.2	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

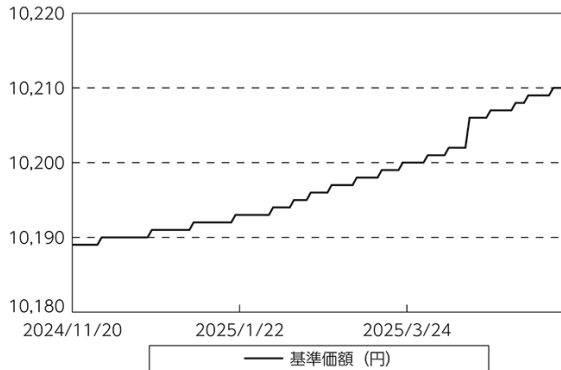
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.2%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

・無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

・日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年11月21日～2025年 5 月20日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2024年11月21日～2025年 5 月20日)

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 810, 270, 423	千円 809, 484, 240

(注) 金額は受渡代金。

○ 利害関係人との取引状況等

(2024年11月21日～2025年 5 月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○ 組入資産の明細

(2025年 5 月20日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期	末
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円	%
	5, 198, 797	12. 8

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○ 投資信託財産の構成

(2025年 5 月20日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円	%
	5, 198, 797	12. 8
コール・ローン等、その他	35, 279, 000	87. 2
投資信託財産総額	40, 477, 797	100. 0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年5月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	40,477,797,928
コール・ローン等	35,278,553,389
その他有価証券(評価額)	5,198,797,053
未収利息	447,486
(B) 負債	733
未払解約金	733
(C) 純資産総額(A－B)	40,477,797,195
元本	39,641,402,603
次期繰越損益金	836,394,592
(D) 受益権総口数	39,641,402,603口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,211円

<注記事項>

- ①期首元本額 5,368,633,626円
期中追加設定元本額 63,750,440,572円
期中一部解約元本額 29,477,671,595円
また、1口当たり純資産額は、期末10,211円です。

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

MUKAM バランス・イノベーション (株式抑制型) (適格機関投資家転売制限付)
三菱UFJ DCバランス・イノベーション (KAKUSHIN)
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式重視型)
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式抑制型)
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030 (確定拠出年金)
MUKAM バランス・イノベーション (リスク抑制型) (適格機関投資家転売制限付)
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド
三菱UFJ バランス・イノベーション (債券重視型)
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035 (確定拠出年金)
マネーボールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)
テンブルトン新興国小型株ファンド
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)
<DC>ベリリー・ギフォード ESG世界株ファンド
ベリリー・ギフォード世界長期成長株ファンド (予想分配金提示型)

○損益の状況 (2024年11月21日～2025年5月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	18,125,452
受取利息	18,125,452
(B) 当期損益金(A)	18,125,452
(C) 前期繰越損益金	101,474,603
(D) 追加信託差損益金	1,312,189,247
(E) 解約差損益金	△ 595,394,710
(F) 計(B＋C＋D＋E)	836,394,592
次期繰越損益金(F)	836,394,592

- (注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

13,841,935,168円
6,876,897,464円
4,456,958,183円
3,602,977,182円
3,227,925,217円
2,899,813,927円
1,742,982,315円
1,618,842,425円
611,391,065円
566,883,520円
117,696,083円
28,182,861円
20,053,135円
14,767,388円
4,850,169円
4,289,171円
2,515,903円
1,329,590円
98,223円
98,222円
98,222円
98,222円
98,222円
49,097円
39,351円
9,829円
9,829円
9,829円
9,822円
9,822円
9,822円

ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド (予想分配金提示型)	9,822円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	9,821円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,821円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	9,821円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,821円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	9,821円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	9,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	9,821円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (年2回決算型)	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型)	9,821円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9,821円
ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド (毎月分配型)	9,821円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	9,821円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	9,821円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9,819円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	9,817円

PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	9,816円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	9,815円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	9,814円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	9,813円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
合計	39,641,402,603円

【お 知 ら せ】

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2025年4月1日)